

日中対照言語学会会報 (No.37)

2016年10月24日(月)発行

会報担当：続三義

加藤晴子

目次

1. 10月常務理事会拡大会議(2016年10月15日)議事録
2. 日中対照言語学会第36回大会(2016年度冬季大会)開催のご案内

資料

3. 2015年度月例会(2015年11月～2016年3月)
4. 2016年度月例会(2016年4月～2016年10月)

※ 事務局より

1. 10月常務理事会拡大会議(2016年10月15日)議事録

日時: 2016年10月15日(土) 15:30～17:00

場所: 大東文化会館 K-403

出席者: 続三義、王学群、高橋弥守彦、安本真弓、竹島毅、平山邦彦、白石裕一、石井宏明(敬称略)

[審議事項]

① 第36回大会(2016年度冬季大会)のプログラム

続三義常務理事長より、2016年冬季大会に関して、講演を2名の先生にお願いし、発表者は12名の応募があったとの報告がされ、応募者全員が発表するには、時間的な余裕がないことが心配された。そこで当日の時間配分などについて検討することになった。

安本、王、竹島常務理事から、開始時間を早め、終了時間を延ばし、そして発表及び質疑応答時間を各25分間にすることが提案され、了承された。プログラムは、2の通り。

② 大会発表の要旨の送付について

これまで、大会の発表要旨は会報と共に会員に送付していた。しかし、枚数が多く、印刷、発送を担当する常務理事の負担が大きい。何よりも、要旨は学会のホームページにも掲載されている。会報からこの部分を省けば、人力、物力の節約にもなる。今後、会報には、常務理事会の決議など、重要な情報を載せるものとする。

上記の提案が続理事長より出され、了承された。

[報告事項]

① 学会誌第19号『日中言語対照研究論集』原稿募集の進捗状況

王学群事務局長より27本の投稿があったこと、中国支部と日本側に締め切り日の通知に関して齟齬が生じていたこと、投稿規定に従っていない投稿者がいることが報告された。中国支部との連絡の行き違いに関しては、メールリストを活用し、締め切り日を通知することが了承された。さらに投稿規定の遵守を投稿者に強く求めていくことが了承された。

② 会費納入状況

白石会計係から会費納入状況が報告され、了承された。今年度の新入会員は22名で、2016年9月現在、会員数は207名。

③ 学会誌送付状況

竹島常務理事より学会誌送付状況が報告され、了承された。中国支部への発送は11月ごろに予定されている。

④ 月例会の会場と発表者について

高橋常務理事から今後の月例会の会場確保と発表者の確保をどのようにするか提議があり、次回で検討することになった。

⑤ 常務理事の推薦について

続理事長より丸尾誠先生（名古屋大学）を常務理事に推薦したいとの提議があり、次回で検討することになった。

⑥ 会報の郵送に関して

竹島常務理事より、現在、会報郵送のために、年間で約 75,000 円の費用がかかっており、会費の払込票は従来通り、郵送するが、経費節約のために、メールで会報を送付することが提案された。今のところ、メールでは連絡がつかない会員もあることから、それらの会員に対しては、郵便で送付し、その他の会員にはメールで送信することが提案された。これに対して、次回で検討し、始めるならば、来年度からメールで会報を送付することが了承された。そして、出来るだけ会員全員にメールで連絡がつくように、関係会員への催促を続けることが了承された。

2. 日中対照言語学会第 36 回大会 (2016 年度冬季大会)開催のご案内

記

日 時： 2016 年 12 月 25 日（日）午前 9:10～午後 6:20

会 場： 大阪産業大学梅田サテライト（JR 大阪駅南口下車、阪神百貨店右の通りを直進、徒歩約 5 分、大阪駅前第三ビル 19 階。大阪市北区梅田 1-1-3。電話 06-6442-5522）

参加費： 1,000 円（会員、非会員共通）

プ ロ グ ラ ム

受付（8:50～）

総合司会 下地 早智子（神戸市外国語大学）

大会開催校挨拶 張 黎（大阪産業大学） 9:10-9:15

開会の辞 于 康（関西学院大学） 9:15-9:20

研究発表 1. 中国語における名詞独立文の意味機能について——日本語との対照を通じて——

肖海娜（神戸市外国語大学大学院） 9:20-9:45

研究発表 2. 容器の認識と松明の原理から見る“大”の強調の意味

岡原嗣春（大阪産業大学など 非常勤講師） 9:45-10:10

以上司会 彭 飛（京都外国語大学）

休憩（10 分間 10:10-10:20）

研究発表 3. 開始義を表す「V 上」「V 起来」「V 开」の比較研究——文法的使い分けと意味的分析を中心に——

邨 鷗（新潟大学大学院） 10:20-10:45

研究発表 4. 日本語「習得」に関する動詞のクオリア構造についての分析

蘇 丹（広島大学大学院） 10:45-11:10

以上司会 竹島 毅（大東文化大学）

休憩（10 分間 11:10-11:20）

研究発表 5. 中国語疑問マーカーにおける歴史変化過程の再検討

杜曉磊（広島大学大学院） 11:20-11:45

研究発表 6. 語気助詞と文末助詞の分類についての一考察

蘇霖坤（神戸市外国語大学大学院） 11:45-12:10

以上司会 安本 真弓（高千穂大学）

昼休み（60 分間 ビルの階下に食堂街あり） 12:10-13:10

講演 1 语言对比研究中的翻译问题

林 璋（福建师范大学 关西学院大学） 13:10-14:10

司会 于 康 (関西学院大学)

講演 2 現代汉语副詞の性質、特征与类别——兼谈現代汉语副詞研究の当前状况与課題——

张 谊 生 (上海师范大学)

14 : 10 - 15 : 10

司会 張 黎 (大阪産業大学)

休憩 (10 分間 15 : 10 - 15 : 20)

研究発表 7. 接客場面における不満表明の応答に関する研究——「謙虚」と“谦虚”を例にして——

胡敏男 (北九州市立大学非常勤教師)

15 : 20 - 15 : 45

研究発表 8. 可能表現における日中対照——能願動詞の意味分類について——

李 娜 (北海道大学大学院)

15 : 45 - 16 : 10

以上司会 余 維 (関西外国語大学)

休憩 (10 分間 16 : 10 - 16 : 20)

研究発表 9. 「刚」, 「刚刚」, 「刚才」と時間範疇

王 慶 (九州外国語学院)

16 : 20 - 16 : 45

研究発表 10. “一点儿” “有点儿” についての語用的考察

時衛国 (愛知教育大学)

16 : 45 - 17 : 10

以上司会 原 由起子 (姫路獨協大学)

休憩 (10 分間 17 : 10 - 17 : 20)

研究発表 11. 動作主中心表現と事物中心表現—身体部分を含む表現について—日中対照表現論

藤田昌志 (三重大学)

17 : 20 - 17 : 45

研究発表 12. 中日両言語における副詞の位置

高橋弥守彦 (大東文化大学)

17 : 45 - 18 : 10

以上司会 王 学群 (東洋大学)

閉会の辞 加藤晴子 (東京外国語大学)

18 : 10

※ 昼食の間、拡大常務理事会を開催予定

※ 当日入会申し込み、学会費の納入も受け付けます。(年会費: 社会人 4,000 円、院生 2,000 円)

注: 講演及び研究発表の要旨は、本学会の HP に掲載されていますので、そちらをご参照ください。 <http://jccls.jp/>

3. 2015 年度月例会 (2015 年 11 月 - 2016 年 3 月)

2015 年 11 月 14 日 (土) 18 : 00 - 20 : 00

場 所: 大東文化会館学生ラウンジ (受付のある階)

発表者 1: 洪安瀾 (大東文化大学博士後期課程)

テーマ: 「存在文の語順について——“在字句”の構造との比較——」

発表者 2: 神野智久 (大東文化大学博士後期課程)

テーマ: 「経験と複数の存現文の認知言語学的分析——複数の認知能力、そして構文的意味」

2016 年 1 月 23 日 (土) 18 : 00 - 20 : 00

場 所: 大東文化会館 K-301

発表者: 小路口ゆみ (大東文化大学博士後期課程)

テーマ: 『官話指南』における“把”構文について

2016 年 2 月 27 日 (土) 18 : 00 - 20 : 00

場 所: 大東文化会館 K-401

発表者: 椿 正美 (中央大学兼任講師)

テーマ：「後方スコープ型」を構成する範囲副詞“也”の意味機能

2016年3月19日（土）18：00－20：00

場 所： 大東文化会館 K-403

発表者： 高橋弥守彦（大東文化大学）

テーマ： 使役表現における中日両言語の視点について

4. 2016年度月例会（2016年4月－2016年10月）

2016年4月23日（土）17：00－19：00

場 所： 東洋大学第1会議室（2号館3F講師控室隣の部屋）

発表者： 続三義（東洋大学）

テーマ： 日汉翻译——以『天声人語』（1992.1.27）为例——

2016年6月25日（土）17：00－19：00

場 所： 東洋大学8号館第2会議室

発表者： 白石裕一（中央大学兼任講師）

テーマ： 《尋找叢洲原理》の中日対照研究——四字漢語、方位詞“上”に限定して——

2016年7月30日（土）17：00－19：00

場 所： 東洋大学1号館6F1605教室

発表者1： 郭蓉菲（上海外国語大学大学院）

テーマ： 日中における「一量(名)+否定」構造に関する考察

発表者2： 孫艷華（大連海事大学）

テーマ： 中国法令条文の翻訳について —「中華人民共和國專利法（第三次改正）」を例として

2016年9月17日（土）17：00－19：00

場 所： 大東文化大学板橋校舎1号館5階1-0517教室

発表者： 神野智久（大東文化大学博士後期課程）

テーマ： 事態生起の順序から見た中国語の移動表現の類型について

2016年10月15日（土）17：00－19：00

場 所： 大東文化会館 K-403

発表者： 小路口ゆみ（大東文化大学博士後期課程）

テーマ： “把”構文における可能表現の否定について



事務局より

- 1) 学会の入会は、日中対照言語学会ホームページ上で随時受け付けています。申し込みができない場合は、王学群事務局長（ohgakubun@toyo.jp）、あるいは竹島毅常務理事（sisi@kkd.biglobe.ne.jp）までご連絡をください。年間会費は社会人 4,000 円、院生 2,000 円となっています。
- 2) 毎月の例会の開催のお知らせは、メールにてご連絡させていただいております。また、来年度より会報もメールにて送信させていただくことになりました。アドレスが不明の方が一部いらっしゃいますので、ぜひお知らせいただきたくお願い申し上げます。また、アドレスの変更につきましても、同様にお願ひ申し上げます。